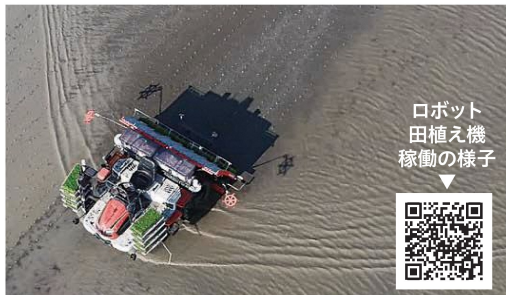


持続可能な農業へ 県立大学による 秋田農業イノベーション



県立大学では、ロボット技術や、AI^{※1}、IoT^{※2}などの先端技術を活用した「スマート農業」の普及に向けて、技術の開発・実証、人材育成に取り組んでいます。先端技術で、労働力不足・後継者不足など秋田の農業の課題解決を目指します。

- ※1 人工知能のこと (Artificial Intelligence)
- ※2 さまざまなモノがインターネットにつながる仕組みのこと (Internet of Things)



AIC Agri-Innovation Education and Research Center, Akita Prefectural University 秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センター

大潟村にある「大潟キャンパス」に立地。スマート農業の普及を切り口に、農業振興、製造業・情報通信業など関連産業の振興を図りながら、さまざまな教育・研究を行なっています。

総面積190ha(うち圃場面積164ha)は、大学附属農場の中で全国一の規模を誇ります。



東京ドームなら40個分、サッカー場なら266面分のサイズ

スマート農業体験学習会を開催しました



大曲農業高校3年生の希望者と1年生の皆さん

スマート農業普及の取り組みとして令和5年9月、大曲農業高校の生徒が参加して体験学習を実施。スマート農業に関する講義や、「未来農業を創る」をテーマにグループディスカッションを行いました。

AICでは、高校生などを対象として最新農業技術の体験授業や出前講義を開催し、農業と関連産業への関心を高める活動を通して地域の活性化に取り組んでいます。

午前 講義「スマート農業技術とは？」 &スマート農機の見学



農業の現状や課題、スマート農業技術の基礎を学んだ後、農業用ドローンやICT^{※3}機能搭載の田植え機などスマート農機を見学しました。

※3 情報通信技術のこと (Information and Communication Technology)

生徒の声

大曲農業高校1年
すがわら いれん
菅原 一蓮 さん



先端技術の例を見て、今後は農業に携わる若い人材が増えるのではないかと思います。秋田の農業の発展に期待しています。

午後 グループディスカッション 「未来農業を創る」

秋田の農業の担い手不足解消のためには、まず、農業そのものへの関心を高める必要があるのではないかと思います。

生徒の声

大曲農業高校1年
いとうあやか
伊藤 綾夏 さん



「10年後に5人のメンバーで農業関係の会社を起業する」という想定でグループディスカッションを行い、考えたビジネスプランを発表しました。